

掛川市教育委員会定例会会議録

教育委員会事務局

会議の名称	平成27年12月掛川市教育委員会定例会																																		
場 所	市役所南館 教育委員会室	作 成 者	教育委員会教育政策室 富田正昭																																
開 催 日 時	平成27年12月25日(金) 午後3時00分から午後4時40分まで																																		
作 成 日 時	平成28年1月15日(金)	次回開催日	平成28年1月28日(木)																																
資 料	下記会議次第及び別紙添付資料のとおり																																		
出 席 者	<table><tr><td>教育長</td><td>山田文子</td><td>学務課長</td><td>中山弘一</td></tr><tr><td>教育長職務代理者</td><td>小野恵美子</td><td>学校教育課主席指導主事</td><td>山田英子</td></tr><tr><td>委員</td><td>松浦昌巳</td><td>社会教育課</td><td>栗田一吉</td></tr><tr><td>委員</td><td>岩尾千佳子</td><td>図書館長</td><td>村松武</td></tr><tr><td>教育次長</td><td>松本一男</td><td>教育政策室長</td><td>赤堀賢司</td></tr><tr><td>こども希望部長</td><td>高川佳都夫</td><td>教育政策室教育企画係長</td><td>富田正昭</td></tr><tr><td></td><td></td><td>教育政策室指導主事</td><td>豊田彰規</td></tr><tr><td></td><td></td><td>教育政策室主任</td><td>杉村省吾</td></tr></table>			教育長	山田文子	学務課長	中山弘一	教育長職務代理者	小野恵美子	学校教育課主席指導主事	山田英子	委員	松浦昌巳	社会教育課	栗田一吉	委員	岩尾千佳子	図書館長	村松武	教育次長	松本一男	教育政策室長	赤堀賢司	こども希望部長	高川佳都夫	教育政策室教育企画係長	富田正昭			教育政策室指導主事	豊田彰規			教育政策室主任	杉村省吾
教育長	山田文子	学務課長	中山弘一																																
教育長職務代理者	小野恵美子	学校教育課主席指導主事	山田英子																																
委員	松浦昌巳	社会教育課	栗田一吉																																
委員	岩尾千佳子	図書館長	村松武																																
教育次長	松本一男	教育政策室長	赤堀賢司																																
こども希望部長	高川佳都夫	教育政策室教育企画係長	富田正昭																																
		教育政策室指導主事	豊田彰規																																
		教育政策室主任	杉村省吾																																

会議次第

1 開 会

2 11月教育委員会定例会会議録の承認について

3 事務報告及び行事予定報告

4 協議事項

- (1) 掛川市大須賀運動場条例の運用変更について (資料 1)
(2) 公立幼稚園預かり保育の拡充について (資料 2)

5 報告事項

- (1) 掛川市内小中学校のあらわれについて (資料 1)
(2) 全国体力・運動能力・運動習慣等調査について (資料 2)
(3) 掛川市学校2学期制評価委員会の実施について (資料 3)
(4) 掛川市公立学校評議員の報告について (資料 4)
(5) 平成27年11月議会一般質問について (資料 5)
(6) 平成28年掛川市成人式について (資料 6)
(7) 社会教育施設の指定管理者公募について (資料 7)
(8) 第3回掛川市城下町駅伝競走大会について (資料 8)
(9) 第16回静岡県市町対抗駅伝競走大会について (資料 9)
(10) 教育委員会主要事務事業スケジュールについて (資料 10)
(11) 平成27年度掛川市放課後等教育支援研究委員会について (資料 11)

6 その他

- (1) 次回定例会の日程等について (資料 1)
(2) 教育委員先進地視察研修について (資料 2)

7 閉 会

協議事項

(1) 掛川市大須賀運動場条例の運用変更について

社会教育課長から、掛川市大須賀運動場条例の運用変更について、以下のとおり説明があった。

掛川市大須賀運動場の2つの照明塔については、老朽化等により平成27年9月25日から11月30日の間、社会教育課の施工により掛川市大須賀運動場野球照明器具撤去工事を行い、野球場の夜間開放ができなくなった。

現在、掛川市から掛川市体育協会が指定管理を受け、この施設の管理運営を担当している。掛川市大須賀運動場条例第8条第3項の規定により、指定管理を行っている場合は、利用料金について、上限額の規定があり、料金を変更する場合は、その金額の範囲内で教育委員会の承認を受けなければならないと定められている。また、掛川市大須賀運動場条例施行規則第3条第2項には、規定による供用時間を変更する場合は、教育委員会の承認を受けなければならないと定められている。

以上の理由から、運動場の使用時間については、午後5時から午後9時30分までの開放を、使用可能な時間帯である午後5時から午後7時までに変更し、利用金額については、1,440円から、市の他施設の料金規定を参考に、夜間開放分を差し引いた額である720円に変更する案を提案させていただいた。承認をお願いする。

委員：大須賀運動場の野球照明が使用できなくなり、利用者からの苦情等はないのか。

社会教育課長：照明器具自体は、修理して使用するレベルではなく、落下等の危険性があり、撤去せざるを得ない状況であったため、早急に対応した。ナイター利用については、大須賀中学校等他の施設を利用していただくようお願いしている。

承認された。

(2) 公立幼稚園預かり保育の拡充について

こども希望部長から、公立幼稚園預かり保育の拡充について、以下のとおり説明があった。

平成27年度からスタートした「子ども・子育て支援新制度」に基づく「地域子ども・子育て支援事業」の中の幼稚園児対象の一時預かり事業は、実施主体を市町村として事業実施することとしている。

市では、保護者のニーズの高まりから、預かり保育を平成22年度から三笠幼稚園、平成24年度からさかがわ幼稚園で実施しているが、平成28年度から市内の全園で実施するものである。さらに、新たに長期休業中も実施する。

実施園については、市内の公立幼稚園11園の全園を予定している。実施時間については、預かり保育時間を保育終了時間から午後5時までとし、長期休業中は、午前8時30分から午後5時までとする。但し、お盆や年末年始や運動会等特別行事のある日は除くものとする。

対象児については、保護者が就労、疾病その他保育を必要とする幼児及び家庭の事情により、一時的に保育に欠ける幼児とする。

保育体制の内、職員体制は、預かり保育の園児10人につき、専任の非常勤幼児教育士1人

とし、必要に応じ他の職員が支援する。夏休み等長期休業時については、市内の拠点園として、すこやか、さかがわ、三笠、土方、大坂、横須賀の各幼稚園を開設し、保護者が直接拠点園へ送迎する。

保育料については、預かり保育が、1ヶ月8,000円で、平成28年度から生活保護世帯は、無料とし、市民税非課税世帯及び所得割非課税世帯は、1ヶ月1,000円とした。但し、8月については、市内の保育園等の料金設定を参考にして1日1,000円とした。また、平成28年度から生活保護世帯は、無料とし、市民税非課税世帯及び所得割非課税世帯は、1ヶ月1,000円とした。一時預かりについては、1回650円とした。

今後のスケジュールについては、1月に保護者説明会を実施し、2月議会に市立幼稚園保育料徴収条例改正議案を上程し、4月から、年中、年長預かり保育を開始し、5月の連休後に年少預かり保育を開始する予定である。

委員：市内の私立幼稚園も同様に預かり保育を実施しているのか。

こども希望部長：ほとんどの私立幼稚園も預かり保育を実施しているが、掛川こども園については、保育士不足で実施されていない。保育料についても、公私立園ともほぼ同額で、均衡をとるようにしてある。

委員：放課後の預かり保育については、専任の非常勤幼児教育士が担当することであるが、長期休暇の場合も同様に担当するのか。また、保育料の徴収については、後日精算か当日精算であるのか。

こども希望部長：専任の非常勤幼児教育士と常勤の幼児教育士が、ローテーションで勤務体系を組み交替で対応している。後日精算の園もあるが、当日精算の園もある。当日精算の園については、事務の繁雑さや金銭トラブルのないように、できるだけ後日精算していく方向で検討したい。

委員：夏休み等長期休業時に担当する市内の拠点園6園は、将来の幼保一元化を想定して設定したのか。

こども希望部長：拠点園6園については、幼保一元化を想定して組んではいないが、地域性を考慮してこの6園とした。

委員：中学校区学園化の各学園に1園といった構成になっていて、地域性からバランスがとれていて、幼保一元化構想の参考にするといい。

教育長：預かり保育の園児10人につき、専任の非常勤幼児教育士が1人担当する場合、市内全体では、17人の保育士が必要となり、確保しているという理解で良いか。長期期間中、専任の非常勤幼児教育士と常勤の幼児教育士が、ローテーションで勤務しているとのことであるが、近年、小中学校の教諭の多忙化の解消が課題となっているが、常勤の幼児教育士も事務や保育相談等の多忙化が想定されることから、できる限り勤務の軽減が必要であると思う。

こども希望部長：預かり保育の園児10人につき、専任の非常勤幼児教育士が1人担当するとのことで、市内全体では、17人の保育士が必要となるが、できる限り確保していきたい。常勤、非常勤の幼児教育士も効率よい勤務体系を検討し、できる限り勤務の軽減を図っていきたい。

委員：市内にも多くの非常勤の幼児教育士という立場の方がいると想定される。今後、正規の職員に任用していくなど勤務待遇の改善が必要であると思う。働く人にとっては安定した雇用など身分の保証やサポートが必要である。幼児教育士や体育協会の方々が他の市町に転職した例もあるので、安定した雇用など身分の保証やサポートを実施し、掛川市の定住化や少子化の防止策につなげていけたらいいと思う。

委員：幼児を持つ保護者にとっては、この制度は大変ありがたいが、特に南部の幼児教育士や今後幼児教育士を目指す人にとては、公立から私立に再編される構想等を耳にして、将来に希望が持てないという人の声もある。県全体の流れとしては、公立から私立にという傾向である。

委員：園訪問等を通して感じたことは、同じ園に勤務していた幼児教育士が、同じ時期に産休や育休に入った場合、他の正規、非正規の幼児教育士に大変な負担がかかっているという問題があるという現状がある。

こども希望部長：南部幼保園の再編の動きの中、新たに正規の職員の募集を停めていたり、非常勤幼児教育士が、正規の職を求めて他市町に流出しているという厳しい現状がある。今後、南部幼保園の再編が決定されるまでは、予算的にも、非常勤の職員をフルタイムから、時間単位で勤務できる方を募集して対応していく必要がある。できる限り検討していきたい。

教育長：掛川市全体の幼児教育の質が低下しないように、非常勤幼児教育士にも、正規職と同じレベルの研修等において充分な時間を確保し、高い質を保っていく必要があると考える。

預かり保育の制度については、市民にとっては、大変ありがたい制度であるので、今後改善を重ねながらより良い方向に持つていってほしい。

承認された。

報告事項

(1) 掛川市内小中学校のあらわれについて

学校教育課主席指導主事から、掛川市内小中学校のあらわれについて、以下のとおり説明があった。

まず、ここ最近のトピックで主なものを報告する。11月6日に、東中学校において、全校生徒約530人と保護者等約30人が参加して、同校初の「平和集会」が開催された。この集会は、いじめをなくすための「学校平和宣言」から1年経過したことを契機に、「学校の平和」をテーマにいじめのない学校づくりに必要なことなどを参加者全員で議論した。

11月11日から13日にかけて、原野谷中学校において、防災講演会と防災講座が、全校生徒と地元消防団員が参加して、開催された。これは、命を守る知識を身につけ、地域防災の担い手を育成する目的で実施され、救急法や煙体験、土のう作りなど9講座を実習した。

次に、11月の交通事故についてであるが、小学校は1件、中学校は0件であった。

次に、非行等問題行動についてであるが、小学校は14件、中学校は9件あった。小学生については、「窃盗」と「生徒間暴力」等であり、中学生については、「器物損壊」と「授業妨害」等であったが、特に、大きな問題には至らなかった。

次に11月の不登校児童生徒であるが、小学校は22人、中学校は54人だった。

次にいじめ問題であるが、小学校は2件、中学校は3件で、内容は「からかい、いやがらせ、悪口」等で、継続指導観察中である。

委員：不登校児童生徒が、昨年度の同時期と比較して増加しているが、原因を把握しているならば、教えていただきたい。

学校教育課主席指導主事：主に不安や情緒関係が要因と思われるが、個人によって家庭環境等の違いや、原因不明で不登校になっている事例もあり、様々な要因があると考えている。

委員：スポーツ少年団の人間関係が原因で、不登校となった事例もあると聞いている。

委員：小学生については、中学生になった時まで影響を及ぼすので、早期の対策が必要であると考える。

学校教育課主席指導主事：継続して指導や観察をしていきたいと考えている。

委員：市内の小学校で、施設の老朽化により、蛍光灯やトイレの換気扇が落下したという事例があつたと聞いている。たまたま人的被害はなかつたが、危機管理の観点から、予算の範囲内で、事前に点検や修理等安全な措置をお願いしたい。

学務課長：その事例については、該当する小学校から、報告を受け、既に修理等を実施し対応済みである。市内の小中学校31校を、常に担当者が巡回して点検はできないので、学校現場から報告を受ければ、即対応している。また、各学校に修繕費として40万円から80万円程度の予算を配当してあるので、危険な箇所が見つかれば、学校の判断で修繕をお願いしている。10万円以上の多額な経費の掛かる修繕等については、その都度、学務課と学校で協議し、対応している。

委員：災害の事前予防として、学校現場と教育委員会がお互いに、安全対策に関して、充分意思疎通を図り計画的に事業を推進していただきたい。

(2) 全国体力・運動能力・運動習慣等調査について

学校教育課主席指導主事から、全国体力・運動能力・運動習慣等調査について、以下のとおり説明があった。

小学校は5年生、中学校は2年生を対象とし、毎年実施される調査となる。全国学力学習状況調査の結果と同じように、実際の測定平均値を、全国・県の平均値を100とした場合に

おける市の平均値の割合を示した。表の中綱掛け部分については、全国または県の平均値より上回っている種目となる。逆に白抜きの箇所については、下回った種目となる。今回、掛川市内の小学生は「握力」が男女ともに全国・県平均を下回っていた。中学生は、男女ともすべての種目において全国平均より上回っていたが、男子は「上体起こし、立ち幅跳び、ボール投げ」の3種目、女子は「反復横跳び、立ち幅跳び」の2種目が県平均より下回っていた。この調査については、県教育委員会から情報をいただき、資料を作成した。今後は、昨年と同様に、ホームページ等へ情報公開する予定である。

(3) 掛川市学校2学期制評価委員会の実施について

学校教育課主席指導主事から、掛川市学校2学期制評価委員会の実施について、以下のとおり説明があった。

掛川市学校2学期制評価については、掛川市が2学期制をはじめてから10年が経過することを踏まえ、成果や課題について、小中学校を代表とする各委員から意見をいただき評価するものである。全国では3学期制から2学期制へ移行した自治体が、また元の3学期制へ戻した自治体もいくつかあるので、一度、学校現場からの意見をいただく必要があると考え、今回、この評価委員会を開催するものである。静岡大学特任教授の鈴木克壽先生を委員長として、小中学校の校長・教頭・教務主任の方々、総勢15名を委員として開催する予定である。

本年度中に、3回の会合を予定している。

(4) 掛川市公立学校評議員の報告について

学校教育課主席指導主事から、掛川市公立学校評議員の報告について、以下のとおり説明があった。

学校評議員の委嘱について、学校教育法施行規則第49条等の掛川市公立学校評議員設置要綱により、校長が学校評議員に委嘱し、校長が市教委へ報告するものである。

今回は、西山口小、城北小学校の2校から、任期1年に伴い、報告書が提出された。西山口小の新任は2名で、地区学習センター長と保護者である。城北小については、新任ではなく、すべて再任となる。学校から報告があったとおり、いずれも適任者である。

(5) 平成27年11月議会一般質問について

教育政策室長から、平成27年11月議会一般質問について、以下のとおり説明があった。

11月議会一般質問については、質問議員13人中、教育委員会及びこども希望部関係の質問が5人あった。主な質問の概要を申し上げる。内藤議員からは、「学校給食とアレルギー対策について」質問があり、大場議員からは、「茶行振興施策について、学校に冷茶サーバーなどを設置する考えはないか」という質問であった。松本議員からは、「地域スポーツ振興について」、榛葉議員からは、「子育て世代の応援について」、小沼議員からは、「世界への掛川市の情報発信策について、姉妹都市に加え海外姉妹校の締結があるか」という質問があった。

(6) 平成28年掛川市成人式について

社会教育課長から、平成28年掛川市成人式について、以下のとおり説明があった。

本年の掛川市成人式については、平成28年1月10日日曜日に、掛川、大東、大須賀の3会場で開催する。掛川会場の対象者については816人、大東会場は232人、大須賀会場は96人であり、合計で1,144人ある。昨年は、81.4%の参加率であったので、今年も概ね8割程度の参加を見込んでいる。式典の内容であるが、第1部については、新成人の誓いや来賓祝辞等市主催のプログラムであり、第2部については、恩師のビデオレター等、新成人の実行委員会が主催したプログラムで構成されている。教育委員の皆様には、最寄りの会場での出席をお願いしたい。

委員：大東、大須賀の会場では、新成人の受付を、中学生が行い、落ち着いた式典となっていると聞いている。掛川会場でも、新成人が大人らしい振る舞いをし、中学生がそれを見習うといったことなど、様々な効果が期待できるので、来年以降考えていただきたい。

社会教育課長：新成人にとっても、中学生にとっても、お互いに良い効果があると思うので、来年以降検討していきたい。また、会場の設定を北部と南部の2会場にしていく等、式典の運営方法についても併せて検討していきたい。

(7) 社会教育施設の指定管理者公募について

社会教育課長から、社会教育施設の指定管理者公募について、以下のとおり説明があった。

掛川市では、生涯学習センター、美感ホール、文化会館シオーネの3施設について、公益財団法人掛川市生涯学習振興公社に指定管理している。平成27年度末に、5年の指定管理期間が満了となるが、検討した結果、次期指定管理者を公募せず、3年間引き続き生涯学習振興公社に指定管理する方針とした。

理由としては、平成27年2月に策定された掛川市文化振興計画において、生涯学習センターを含む3施設は、文化振興の拠点施設として位置づけられ、管理運営を行っている掛川市生涯学習振興公社は、市とともに計画推進の中核を担う機関と位置づけられ、3施設を最大限に活用するためである。また、本来、ソフト事業とハード事業を分けて指定すべきであるが、現実には、一体で管理運営しないと難しい面があることである。

平成27年度については、約2億円の管理委託料を予算化しているが、今後3年間で、生涯学習振興公社が、この経費を削減していく努力が必要であると考えている。

正式には、2月議会に諮り、承認をいただくこととなる。

(8) 第3回掛川市城下町駅伝競走大会について

社会教育課長から、第3回掛川市城下町駅伝競走大会について、以下のとおり説明があった。

第3回掛川市城下町駅伝競走大会については、主として、市民の心身両面の健康、陸上競技力の向上を目指し、駅伝としての競技人口の拡大を図り、競技力のアップに繋げていきたいと考えている。主催は掛川市体育協会を中心とした掛川市城下町駅伝競走大会実行委員会である。開催内容については、平成28年2月14日日曜日に実施し、開会式を午前9時から掛川城三の丸広場で行い、小・中学校の部については、4区間6.44kmで午前9時50分にスタートし、一般・高校の部については、4区間11.38kmで午前11時5分にスタートする予定である。選手は、スタートとゴールを緑橋として、市街中心部を走ることとなる。閉会式については、競技終了後に掛川城三の丸広場で行う予定である。また、今回の新しい取り組みとし

て、競技の正確性を期するため、最終ランナーは、ICタグを装着して走ることとした。

過去の実績では、第1回目は149チームが参加し、第2回は192チームが参加した。今回は、200チーム以上の参加を見込んでいる。今後PRに努めて行きたい。

(9) 第16回静岡県市町対抗駅伝競走大会について

社会教育課長から、第16回静岡県市町対抗駅伝競走大会について、以下のとおり説明があった。

第16回静岡県市町対抗駅伝競走大会については、12月5日土曜日に、県庁をスタートして県営草薙陸上競技場をゴールにして行われた。結果については、個々の選手のがんばりがあったが、タイムは2時間27分4秒で、残念ながら39チーム中29位であった。昨年の市の記録は、2時間21分14秒で15位であったが、今年の記録に当てはめた場合、17位から18位という順位となる。県内市町のチームの記録も年々向上しているので、今後の課題として、チーム全体のレベルアップを図るために、個々の選手強化に努めていきたいと考えている。

明るい話題としては、1区を走った東中出身で、島田高校在籍の相良鮎美さんが、1月に開催される都道府県対抗駅伝の県の選抜チームの一員となったことである。今後の活躍を期待したい。

(10) 教育委員会主要事務事業スケジュールについて

教育委員会各課長から、各課の主要事務事業の実績について説明があった。

(11) 平成27年度掛川市放課後等教育支援研究委員会について

教育政策室指導主事から、平成27年度掛川市放課後等教育支援研究委員会について、以下のとおり説明があった。

平成27年度掛川市放課後等教育支援研究委員会については、武井敦史静岡大学大学院教授を委員長に、12人の委員で構成されている。これまでに5回の研究委員会を開催した。11月4日には、放課後等教育支援の先進地である東京都品川区と神奈川県横浜市の放課後等教育支援関係施設への研修視察を実施した。

今後は、平成28年2月9日に第6回研究委員会を実施し、研究報告をまとめ、2月22日の教育委員会定例会で、事務局から報告させていただく予定である。2月25日には、委員長から市長に研究報告、3月23日の総合教育会議では、放課後等教育支援のあり方について、協議していただく予定である。

その他

(1) 次回定例会等の日程等について

① 12月教育委員会定例会日程

日 時： 12月25日（金） 午後1時30分～

開催場所： 市役所南館教育委員会室

② 1月教育委員会定例会日程

日 時： 1月28日（木） 午前10時00分～

開催場所： 市役所南館教育委員会室

③ 2月教育委員会定例会日程

日 時： 2月22日（月） 午前10時00分～

開催場所： 市役所南館教育委員会室

(2) その他の予定について

① 教育委員会視察研修会

平成28年2月2日（火）～3日（水）

関西方面 小中一貫校等先進地他（京都市）